

# 特別会計

## 教育費

ALT(外国語指導助手) 1名増員の成果は

**竹田委員** ALTの1名増員分はどのように配置したのか。また、成果は。

### 教育長



小学校に2名配置し、年間で荒砥小が110日、ほかの小学校は75から78日配置できた。英語が身近なものとして感じられ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の態度の育成にもつながっていると捉えている。

## 健康福祉課長

態の方が減少し要支援状態の方が増えたのか。介護保険認定者数は903名で前年度より約40名の減。その中で要介護4から5の方が約30名の減であり、介護度の重い方が少なくなっていると思う。

### 竹田委員

介護予防や、要介護状態が進まないような取り組みを、町当局や関係者が継続してきた成果ではないか。

## 健康福祉課長

さまざまなステージに合わせた健康づくりや介護予防の活動の成果が出ているのではないか。地域の自主的な取り組みも積極的になされている結果も出ていると考えている。

### 町長

医療も含めて健康的なものをづくり上げていくということが、重症者や重篤な方をつくらない方向になってきているのではないか。

## 町立病院 事業会計

### 病院経営の考え方は

**奥山委員** 入院患者が前年度より外科では増、内科は減。要因は。

### 病院事務局長

褥瘡(床ずれ)処置患者や、大腿骨頸部骨折などによるリハビリ目的で転院してくる患者が増えている。

### 奥山委員

患者が少なくなれば、光熱水費等を経費削減しなければならぬ。空調熱源装置更新に関しての考え方は。

### 病院事務局長

24時間365日患者様がいる中で光熱水費の節減は難しい。更新した装置は電気と重油のハイブリッドで、停電時は重油のみで稼働し、震災などで重油入手が困難なときは電気のみで稼働可能。電気代も約9%減で、省エネと経費節減の効果がみられる。



みんなで楽しく健康づくり

### 奥山委員

介護との連携、医師の確保、医師と看護師の働き方改革の考え方は。

### 病院事務局長

大きな病院よりも働きやすい環境ではないか。有給休暇の5日以上取得も守られている。医師確保はなかなか厳しい状況。介護連携は、訪問看護をし始め、地域包括支援センターとのやり取りもスムーズになっている。地域包括ケア病床は今年度中の取得を目指している。

